



(補足資料)

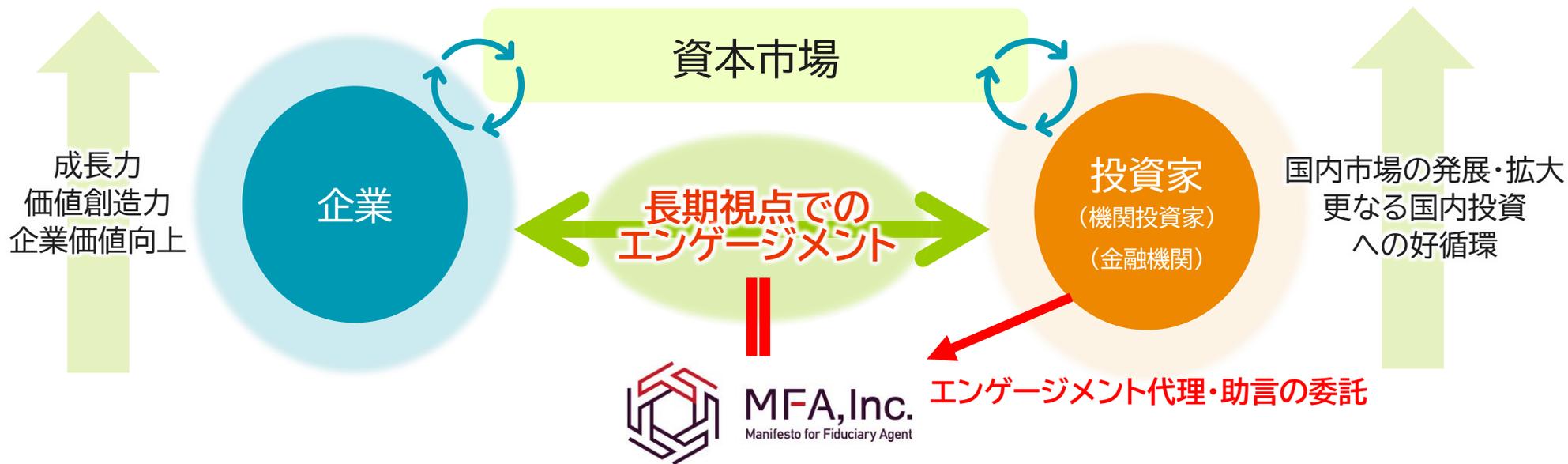
企業へのエンゲージメントを行うオープン・プラットフォームとしての
フィデューシャリー・エージェンツ事業会社の創設について

2023年4月21日

MFA創設の背景

本邦金融資産が企業や家計に停滞し、国内産業の成長資金として十分に循環しない構造
上場企業の5割超(約1,800社)がPBR1倍未満

「責任ある投資家」による長期視点でのエンゲージメントを浸透させ
日本企業を活性化させる必要あり

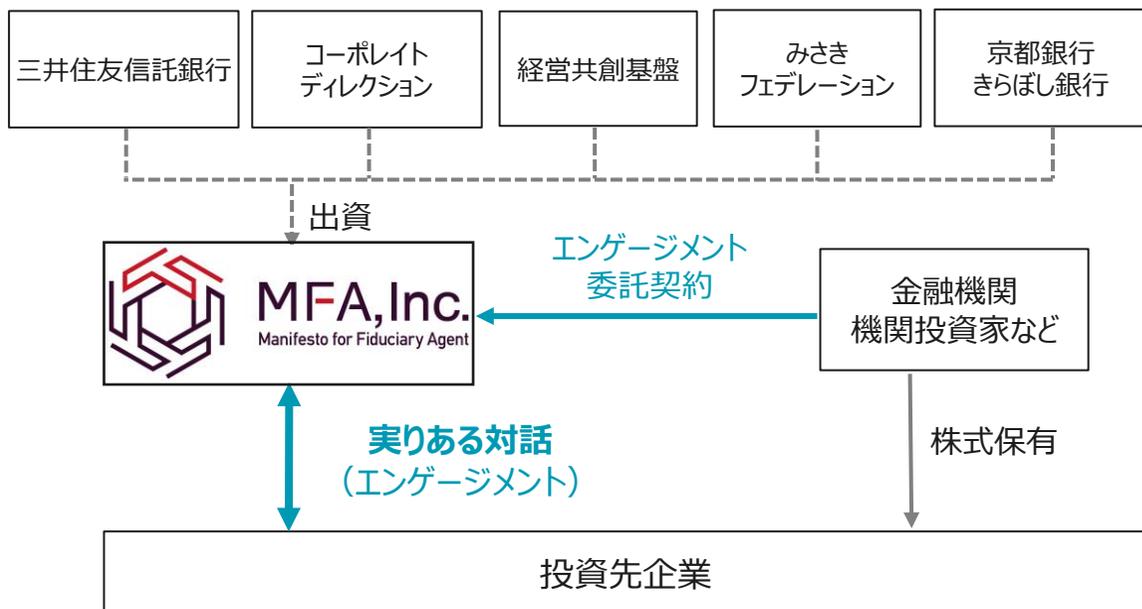


長期視点でのエンゲージメントにより、日本企業の成長力を取り戻し、成長資金を循環

MFA株式会社について

- 株主からの委託に基づき、投資先企業とのエンゲージメント代理・助言事業を行うオープン・プラットフォーム
- マルチステークホルダーの立場で対象企業との「実りある対話」を行い、企業の経済的価値・社会的価値の向上に貢献

<ストラクチャー図>



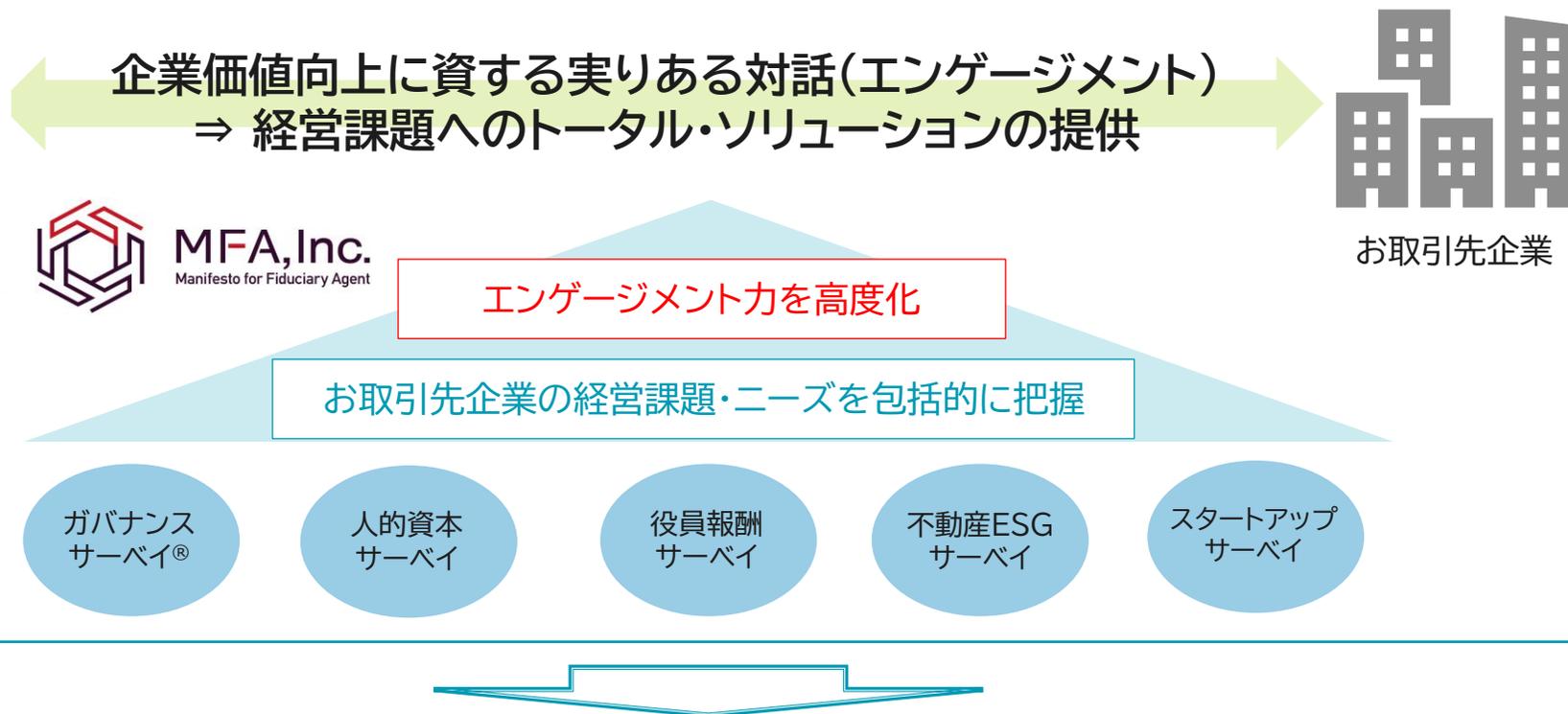
<MFA株式会社の概要>

代表者	石井 光太郎(CDI出身)	
資本金	60百万円	
株主	三井住友信託銀行 36% コーポレートディレクション(CDI) 25% 経営共創基盤 20% みさきフェデレーション 15% 京都銀行 2% きらぼし銀行 2%	
事業内容	株主からの委託に基づくエンゲージメント代理・助言事業	

三井住友信託銀行の参画の狙い

- MFAのエンゲージメントノウハウを「ベストパートナー化戦略」に取り込み、お取引先企業の経営課題に寄り添ったエンゲージメントとトータルソリューションの提供を推進
- エンゲージメント力の高度化による日本企業の成長力の回復、資本市場の活性化に貢献し、「資金・資産・資本の好循環」を実現

ベストパートナー化戦略 お取引先企業の経営課題に寄り添い、企業価値の向上に貢献



本邦資本市場の活性化に貢献し、「資金・資産・資本の好循環」を実現